

◎障害のある方と共に理解を深める

「障害のある方の災害時支援に関する学習会」

南街・桜が丘地域防災協議会 本部

東大和市福祉部内の専門部会「東大和市地域自立支援協議会 防災・防犯部会」主催の、首記学習会が開催されました。

クロスロードを教材とし、30余名の方々(5班それぞれのファシリテーターを含む)が2時間にわたり、和やかな雰囲気の中、活発な意見交換を致しました。

記

1. 開催にあたって

東大和市 福祉部 障害福祉課
課長 小川様



クロスロードをご指導頂いた
東大和市社会福祉協議会
係長 鎌田様



2. 障害の方を対象としたクロスロードについて

教材は「災害発生！そのときあなたは～災害時クロスロード体験～(障害のある方への支援版)」を使用。

災害に対応するため、意見のすり合わせ、合意の形成を行う。

即座の判断に基づく。災害時をイメージ。障害の方を対象に心構えを考える。

1つのグループは奇数の人数とする。



以下5班に分かれてのグループ討議で、異なった多くの意見・感想が披露され、自身の身になって具体事例を考えることを体験しました。

3. 5班に分かれてのクロスロード

以下の事例(障害福祉課で取得可能)に遭遇した場合の自己の行動を、「YES」か「NO」で回答。

1	あなたは一般市民です。電車に乗っている時に地震で電車が急停車し、車内には振替輸送のアナウンスが流れています。近くに不安そうな顔してキョロキョロしている人がいます。あなたは声をかけますか？
2	あなたは車いす利用者です。台風で住んでいるアパートが停電になってしまい、近くに自主避難所が開設されています。あなたは近隣住民の力を借りて自主避難所へ行きますか？
3	あなたはマンションの住人です。震度5の地震が起こり、エレベーターが止まってしまいました。上の9階に車いすの人が住んでいます。あなたは声をかけに行きますか？
4	あなたは災害ボランティア員です。精神障害のある人の家事手伝いをしに訪問して帰る際に、精神障害のある人が不安定になり、「ずっといてくれ。」とお願いされました。あなたは精神障害のある人の家にずっといますか？
5	あなたは心臓ペースメーカー使用者です。避難所で生活していますが、隣の人スマホをしきりにいじっている人がいます。あなたは近くで操作しないでもらうよう言いますか？
6	あなたは一般市民です。道を歩いている時に地震がおき、交差点の信号が消えてしまいました。サングラスをかけた困ったような様子の信号待ちしている男性がいます。あなたは声をかけますか？
7	あなたは店主です。店前に、大雨洪水で道を横断できないで独り言を言っている人がいます。あなたは声をかけますか？
8	あなたは一般市民です。地震が起こり、避難所(体育館)で生活しています。土足厳禁なのに土足で歩いているヘルプカードをつけた人がいます。あなたは注意しますか？

(第5班での回答)(カッコ内は YES-NO の人数)

事例1(5-0)、事例2(2-3)、事例3(4-1)、事例4(3-2)、事例5(3-2)、事例6(4-1)

(全体で一番印象に残った各班の事例)(カッコ内は YES-NO の人数)

第1班:事例3(2-3)、第2班:事例3(3-2)、第3班:事例3(4-3)、第4班:事例5(3-2)、第5班:事例3(4-1)

4. 開催通知

東大和市地域自立支援協議会 防災・防犯部会 主催

障害のある方と
共に理解を深める
障害のある方の
災害時支援に
関する学習会

東大和市地域自立支援協議会防災・防犯部会では、障害のある方の防災・防犯面の支援について協議等を行なっております。

地域に住む障害のある方を知っていても、「災害時に障害のある方をどう支援すべきかわからない。」など、日常生活も含め、いざという時にどう行動するべきか迷うことはありませんか？

今回は、クロスロードという防災教材を使って、災害時も含めた障害者理解・支援について学習会を開催します。

日時

会場

テーマ

定員・申込み

平成30年11月27日(火) 入場無料

午後1時30分～午後3時30分 (開場 午後1時)

東大和市役所会議棟 第1会議室

市民参加型学習会 / 「クロスロードで学ぶ障害のある方の災害時支援」

定員 30名 / 電話又はファクスで障害福祉課までご連絡ください。
(TEL:563-2111 内線 1123 / FAX:563-5928)
手話通訳をご希望の方は11月13日(火)までにご連絡ください。

あなたは一般市民です。隣には車いすの方が住んでいます。震度5弱の地震が発生し、必要に応じて避難するよう防災無線が流れています。あなたは車いすの方の様子を伺いに家に訪問しますか？

⇒ YES or NO



以 上